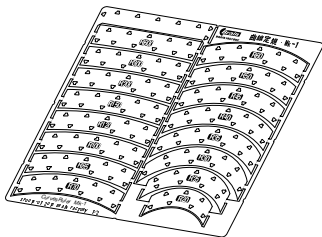


曲線定規

(SP0015A~R)

(R20~R600、16ピース)

取扱説明書

ご使用前に、この説明書をよくお読みの上、使用してください。ヒートペンの基本的な使い方については、製品に付属の取扱説明書をお読みください。

1. 特長

R20からR600までの16種類の曲率半径の曲線ゲージを、独立した長さ50mmのコンパクトサイズにまとめました。

航空機プラモデルの筋掘りやリベット打ちのガイドに最適です。

立体物の曲面Rの測定や、作品の加工途中のRの確認など、測定用としても利用出来ます。

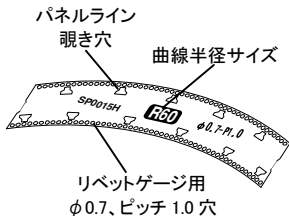
R20以上から直線まで、ほとんど抜けが無く曲線に合わせる事が可能です。

内Rと外Rが同じ曲率半径になっていますので、取り回しが容易です。

リベット用のガイド穴は、直径0.7mm、ピッチ1.0mmで統一しています。ニードル状ツールの他、沈頭リベットビットや丸頭リベットビット(0.4mm以下)が使用可能です。

仕様 全16ピースセット

- ・曲線ゲージ部の曲率半径(mm):
20、25、30、35、40、45、50、60、70、85、100、120、150、200、300、600(全16種)
- ・リベット用のガイド穴:
直径 0.7mm、ピッチ:1.0mm、端面より穴中心までの距離 0.6mm
- ・ゲージサイズ:
ゲージ部長さ:50mm(一部 50mm 未満)、幅:10mm(中心部)、厚さ:0.1mm
- ・その他:
製品外枠部に直線リベットガイド穴付き



2. 使用方法

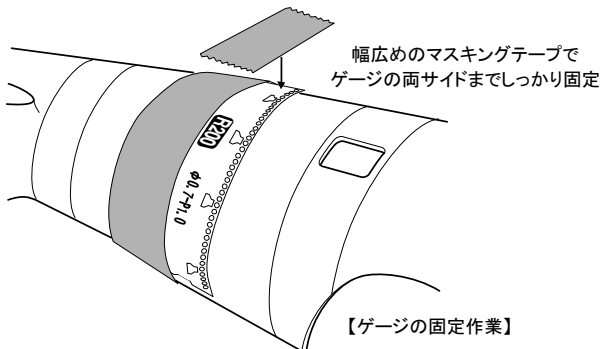
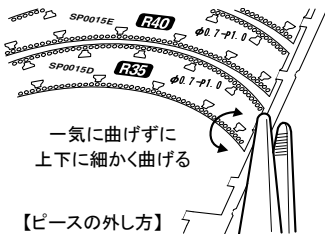
① ピースをフレームから外す

ブリッジ(接続)部分には、折り目が入っていますので、ラジオペンチなどでフレーム側を押さえ、ピース部分を指で揉んで上下に細かく10回程度曲げると、きれいに折れて分離します。

② 加工物にゲージを貼る

合わせたいラインに一番近い曲率半径のゲージを選び、加工物にゲージを固定します。作業中に動いたり剥がれたりしないように、幅が広めのマスキングテープ等でゲージの両端まで押さえ込むようにしっかり固定します。

リベット打ち作業の場合は、ツール先端の直径がガイド穴のサイズに対して遊びがあるので、通常はツールの先端を端面側に当てながら作業をします。



メモ 微妙にカーブが合わない場合は、ゲージの使用しない側のカーブの下に詰め物をして片側を浮かせると、曲率半径を微調整することが出来ます。

メモ リベット打ち作業で使用する場合は、ゲージの裏面に厚手のテープを貼って少し浮かせると、リベット打ち作業がやり易くなります。

ご注意 曲面に巻く形で使用后、反りが残る事があります。使用後は丁寧に反りを修正してください。